

学校安全（防災・交通安全）指導者派遣 ぼうさい授業（水害・土砂災害編）

- 1 実施日 令和6年9月4日（水）
- 2 参加者 全校児童生徒
- 3 講師 東京海上日動火災保険株式会社 講師
- 4 ねらい ・児童生徒が自らの命を守り抜くための「主体的に行動する力」を育成する。
- 5 内 容

児童生徒の活動	
1 水害や土砂災害についての基本的なことを知る。 (1) 水害や土砂災害の発生のメカニズム (2) 水害や土砂災害発生時に起こる被害の様子について 災害から自分と大切な人を守ることができるようになるう。 2 災害への備えについて理解する。 (1) ハザードマップの確認について (2) 情報収集に努めることについて (3) 避難について、普段から家族と話し合っておくこと。 (4) 避難バッグの準備について 3 不自由なことが多い避難所での生活において、自分は周りの人のために、どんなことができるかを考え、交流する。 ・ケガをしている人がいるかもしれない。その人たちのために、食事を運んであげることができると思う。 ・お年寄りがたくさんいると思うから少しでも元気になってもらえるよう声をかけてあげることができそう。	・動画や写真を用いて、児童生徒が具体的なイメージをもつことができるようにする。 ・クイズを交えながら、児童生徒が関心をもつことができるようにする。  ・避難バッグの中に入れておくべき物について、実物を見ながら理解する。  ・災害時には、「自分にできることを考えて、自分から行動することが大切」であることを理解する。

6 児童生徒の感想

- ・避難バックに入っているものを実際に見せてもらったので、どういうものが必要なのか分かった。自分の家ではしっかりと準備されているかを確認してみたいです。
- ・災害が起きた時に、自分にできることを考えて行動することが大切だと分かった。災害に備えるということでは、私は自分の住んでいる地域のハザードマップを見たことがなかったので、見てみたいと思います。

7 事後の取組

本授業後に、学習した内容を「地震への備え」とつなげた掲示を保健主事が作成し、防災についての更なる意識化を図った。避難バッグに入れておくべきもの等、普段からの備えについて考えることができるようにし、児童生徒も関心をもって掲示に見入っていた。

